

第53回

朔太郎 忌

日時

2025年5月11日[日]

開演 13時30分 (開場 12時30分)

会場

昌賢学園まえばしホール 小ホール

(前橋市民文化会館) 定員 600名 自由席

師よ 誰があなたの孤独を嘆くか

第1部

講演 表現者と師
出演 池澤夏樹 (作家・詩人)

第2部

リーディングシアター

「師よ」～誰があなたの孤独を嘆くか～

出演 奥田瑛二、三上博史、柳沢三千代、萩原朔美 ほか
脚本・演出 生方保光 (劇団ザ・マルク・シアター)

チケット
購入方法

チケット 2,000円

(前橋文学館 観覧券1回分付)

販売・申込開始: 3月28日(金)午前9時より

① 前橋文学館の窓口でチケット購入(現金のみ)

② 裏面QRコードよりオンラインチケット購入

③ 前橋文学館へ電話(027-235-8011)申込

※③の場合は、チケット代は予約から2週間以内に前橋文学館窓口でお支払いください。

主催 前橋市、朔太郎忌実行委員会 共催 (公財)前橋市まちづくり公社、萩原朔太郎研究会、前橋文学館友の会

後援 朝日新聞前橋総局、NHK前橋放送局、FM GUNMA、共同通信社前橋支局、群馬テレビ株式会社、産経新聞前橋支局、J:COM 群馬、時事通信社前橋支局、上毛新聞社、高崎前橋経済新聞、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、(公財)前橋観光コンベンション協会、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所、読売新聞前橋支局

協賛 群馬詩人クラブ、群馬ペンクラブ

お問い合わせ 朔太郎忌実行委員会 (水と緑と詩のまち 前橋文学館内)

TEL: 027-235-8011 FAX: 027-235-8512 <https://www.maebashibungakukan.jp> 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

師よ 誰があなたの 孤独を嘆くか



近代詩史に大きな足跡を残した詩人・萩原朔太郎が亡くなったのは、1942(昭和17)年5月11日でした。朔太郎生誕の地前橋では、例年命日に合わせて朔太郎を偲ぶ「朔太郎忌」を開催しています。

今回は、表現は教えられるのか？ 表現者にとって「師」とはどのような存在なのかをテーマに、第1部では池澤夏樹氏(作家・詩人)をお招きし、ご講演いただき、第2部では新作のリーディングシアターを上演します。

第1部 講演「表現者と師」



池澤夏樹
いけざわ なつみ

作家、詩人。1945年北海道帯広市に生まれる。小学校からは東京育ち。以後、多くの旅を重ね、3年をギリシャで、10年を沖縄で、5年をフランスで過ごして、今は信州在住。

1987年に『スティル・ライフ』で芥川賞を受賞。その後の作品に『マシアス・ギリの失脚』、『花を運ぶ妹』、『静かな大地』など。詩集には『池澤夏樹詩集成』、『メランコリア』とその他の詩、『丹後』など。

『池澤夏樹＝個人編集 世界文学全集』、『池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集』を編纂。

リーディングシアター

第2部 「師よ」～誰があなたの孤独を嘆くか～

脚本・演出：生方保光(劇団ザ・マルク・シアター)

出演：奥田瑛二 三上博史 柳沢三千代
萩原朔美(前橋文学館特別館長)ほか

両親の望む医業への道を断念し、文学の道を選択した朔太郎。そんな時出会った北原白秋によって、朔太郎は近代詩人としての歩みを始めることができた。朔太郎は白秋に熱狂するが、まもなく白秋とは異なる独自の詩風を確立。口語自由詩の完成者という評価を得る。だが、朔太郎の依頼で白秋は『月に吠える』に序文を寄せるなど、朔太郎の白秋への敬意は変わらなかった。

やがて昭和の初め、朔太郎は帝大生で新進詩人の三好達治と出会い、達治は朔太郎を師と仰ぐ。達治が思いを寄せる朔太郎の妹・アイと達治の婚約のため、朔太郎は尽力するが破談となってしまう。数年後、朔太郎が『氷島』を出版すると、詩観の違いから達治は批判し、朔太郎も反論した。しかし師弟の信頼関係は揺るがなかった。朔太郎の遺影の前で涙ぐむ達治。彼は「師よ 誰があなたの孤独を嘆くか」と筆を走らせる。



奥田瑛二



三上博史



柳沢三千代



萩原朔美

第53回

朔太郎忌

オンライン
チケット
購入方法

<朔太郎忌購入サイト>

右のQRコードを読み取り、必要事項に
記入のうえお申し込みください



※別途手数料がかかります。

- ・3月28日(金)午前9時より受付開始。・座席指定はできません。
- ・事前購入の方：チケット引き換えは、当日12時から昌賢学園ホールのチケット売り場で行います。
- ・チケット半券は、2025年5月25日(日)まで前橋文学館観覧券としてご利用になれます。(当日午前中に前橋文学館を観覧されたい場合は、あらかじめお電話にてお知らせください)
- ・申込後のキャンセルは前橋文学館までお電話ください。



○会場アクセス

昌賢学園まえばしホール
(前橋市民文化会館)

〒371-0805 群馬県前橋市南町三丁目62-1

詳細は昌賢学園まえばしホールHPをご確認ください。
<https://www.maebashi-cc.or.jp/maebashishibun/access>

アクセス(交通案内)

電車 JR両毛線・前橋駅南口から徒歩8分

自動車 関越自動車道・前橋ICから車で20分

※駐車場は詰込みとなります。お早めにお越しいただくか、公共交通機関をご利用ください。

前橋文学館
開催中の企画展

2階企画展示室(～5月25日まで)
収蔵資料展
「ロマンチックな飛翔 酒と詩人と人生と」

3階オープンギャラリー(～6月15日まで)
企画展
「おいしいおいしいのよい展」

Illustration & Design studio vision Tatsushi Ishiro